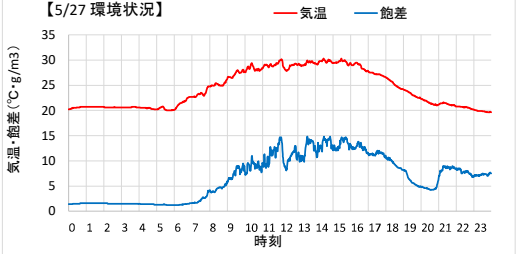


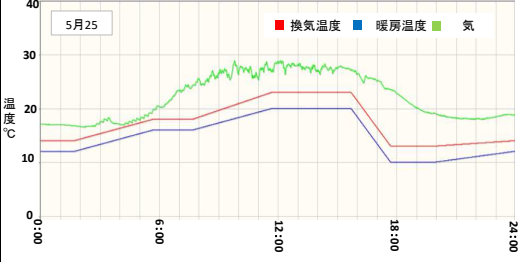
トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

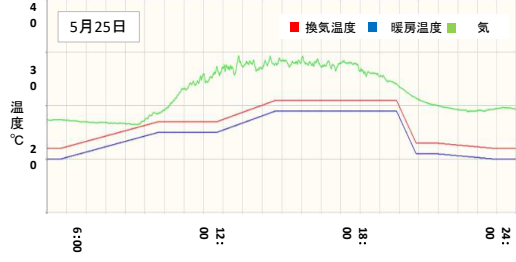
① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 定植日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② ココバッグラインナップ比較試験 ③ 2021/8/30 ④ 7月

品目	圃場写真①	圃場写真②
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		今月の状況 と 今後の管理

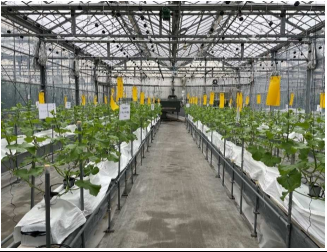
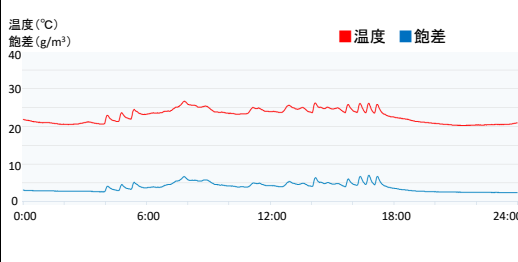
大玉トマト	 	【5/27 環境状況】  ココバッグ(レギュラー・プロフェッショナル・エキスパート)比較3作目。桃太郎ホープ。給液は日射比例で晴天日は株1000cc程度。尻腐れの多くなる時期なので、5月以降は萎れに関わらず積極的に遮光(9:00-14:00くらい)を行うとともに、給液開始を日の出時刻くらいに早めました。6月上旬に約27段でピンチ予定、7月上旬中頃まで収穫を行います。
-------	---	---

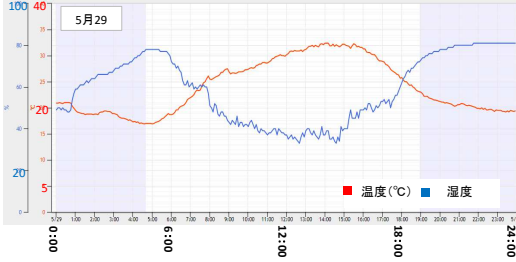
① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2021/7/26 ④ 6月 ① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2021/7/26 ④ 6月

ミニトマト	 	※TY千果
 5/20摘芯済。28-30段収穫中。給液はEC1.8前後で、量は1日2300cc/株(晴天日)。排液率は20%程度、排液ECは1.7前後。外気温上昇に伴い、換気は常に全開になる日が増えてきています。飽差が高くなる日も多いので、灌水不足に注意していきます。6月末片付け予定です。		※有彩

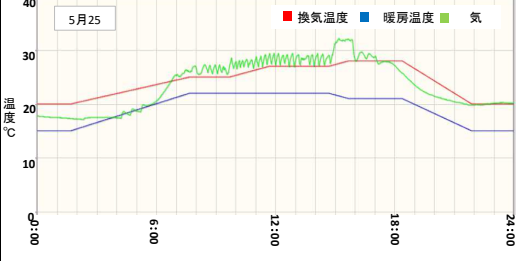
大玉トマト	 	※有彩
 5/20に摘芯しました。最終開花段は26-27段でした。現在は22-24段を収穫中です。給液はEC1.8前後で、1日2000cc/株(晴天日)。排液率は20%程度です。品種によっては葉先枯れや尻腐れが見られます。灌水不足にならないよう注意します。		

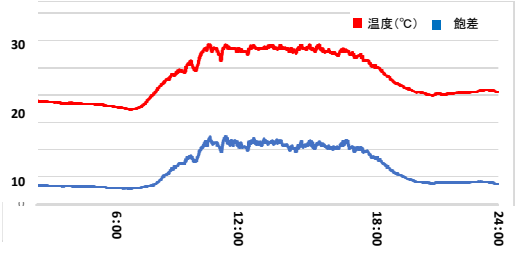
① 第4 D ② アールスメロン品種比較試験 ③ 2022/5/13 ④ 8月 ① 第4 E ② ベンチ・品種比較試験 ③ 2021/9/17 ④ 6月

アールスメロン	 	
 5/13に定植しました。給液ECは1.6、給液量は1600cc/株。排液ECは1.0前後、排液率は約20%です。展開枚数は13~14枚です。生育ステージに合わせて随時、給液管理・ハウス環境制御を変えていきます。		

イチゴ	 	※すず ※はるひ
 現在の給液ECは0.6程度、1回70ccを6時~16時の間で7回給液しています。外気温上昇に伴い、換気は常に全開です。日中は温度が上がりにすぎないように、遮光も行っています。またアザミウマが発生しているので、定期的な防除を行っています。6月末片付け予定です。		

① 第4 J ② 試作肥料・生育ムラ比較試験 ③ 2021/10/5 ④ 6月 ① 第4 I ② 排液リサイクルシステム実証試験 ③ 2021/8/21 ④ 6月

キュウリ	 	
 開花は上位から1-3節、収穫は5-7節。給液ECは1.7から1.4前後まで下げた管理に変更しました。前月同様、生殖成長に寄っていますが、株によりかなり回復しています。今後も継続的に開花の1節上の摘果を週1回行い、樹勢の回復に努めます。6月は9時~15時頃まで積極的な遮光を行い、日射ストレスを軽減した管理を目指します。		

大玉トマト ミニトマト	 	大玉 ミニ
 5/10に摘芯しました。給液ECは2.0、排液ECは8.0、排液率は20%です。排液は100%再利用しており、給液の50%として利用されています。 大玉は21段、ミニは25段開花で最後まで収穫していきます。糖度は大玉で8.2、ミニで8.3。		

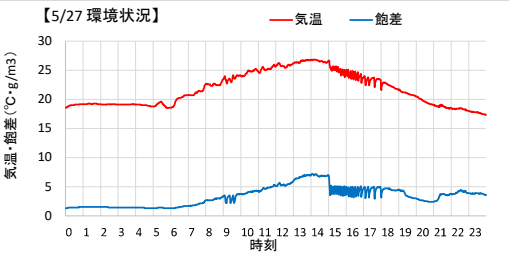
緑肥		-
次作準備中	次作のブロッコリー品種比較試験に向けて、緑肥作物(クロタリヤ)を播種しました。 排水性・透水性の改善を目的としています。	-

ミニ胡瓜		-
次作準備中	準備中ですが、スナップエンドウの輪作としてミニ胡瓜の栽培展示をします。	

スイートコーン	 	早生 晩生
計2作型 早生作 3/15播種 絹糸発生、5/19追肥 晩生作 4/11播種 本葉4~6枚程度、5/25追肥	早生作は、出穂終了し、絹糸が発生し始めています。5/19に2回目追肥。昨年より茎が太くがっちりできています。降雨と気温は平年よりやや少なめ・低めです。 晩生作は発芽不揃いの影響で生育にバラつきが見られます。5/25に1回目追肥。同時に開始した点滴養液栽培は生育に遅れなく順調です。	

海外野菜	 	昨年 の 様子 ツ 昨年 の様子 (ピー
次作準備中	昨年同様、海外野菜の展示を行う予定です。品目は検討中です。	

タマネギ		
-	6月の収穫期前にべと病が発生してしまいました。最後までしっかり防除しないとイケないです。	

大玉トマト		
【5/27 環境状況】 	高糖度栽培用の単肥組成実証試験中。品種は麗旬x根美S。冬は糖度7~8度程度まで上がったが、4月以降は尻腐れ対策でECを下けたのと遮光を始めたので糖度は減少。現状は6度台です。5月中旬から尻腐れが2割程度出ている状況。遮光は700Wで萎れる前に行うようになっています。6月初旬でピンチ、7月上旬まで収穫予定です。	